



Kansai American Center

Public Affairs Section: Culture, Policy, Press

Phone: (06) 6315-5969 Fax: (06) 6315-5999

Information Resource Center

Phone: (06) 6315-5970 Fax: (06) 6315-5980



講演会/ディスカッションへのご招待 **逐次通訳付・参加費無料**

ロボット開発の日米協力 — 新たなビジネスの創造へ —

現代社会において、すでにロボットは我々の日常生活に欠かせない一翼を担っています。そしてその役割は農業、医療、介護など様々な分野で更なる技術革新が期待されています。アメリカのロボット開発は、インフラの調査、保険の契約査定、経済的損失の軽減、公共機関の安全性向上など多岐にわたり、一方日本では原子力発電所の事故を含めた東日本大震災がロボット開発の考え方を根本から変えました。

本講演会では、災害救助活動におけるロボットの役割を研究しているテキサス A&M 大学のロビン・マーフィー博士をお招きしてロボット開発における日米協力関係と、それがもたらすビジネスチャンスについてお話いただきます。今後更なる発展が期待されるロボット開発分野に秘められた可能性と、このチャンスをつかむために今何をなすべきなのかを考えてみませんか。

日 時 ◆ 2015年9月8日(火) 午前10時から12時

会 場 ◆ 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス B3棟 108 小講義室
〒599-8531 堺市中区学園町1番1号(裏面地図参照)

申し込み ◆ 大阪府立大学 女性研究者支援センター
TEL・Fax:072-254-9856(内線5057) Mail:w-support@ao.osakafu-u.ac.jp

お問合せ ◆ 関西アメリカン・センター (担当 中西)
Mail: nakanishie@state.gov TEL: 06-6315-5969

講 師 ◆ テキサス A&M 大学 ロボット支援探索救助センター所長
ロビン・マーフィー 氏

司 会 ◆ 大阪府立大学 工学研究科 機械工学分野 助教
中川 智皓 氏

共 催 ◆ アメリカ総領事館広報部・関西アメリカン・センター
大阪府立大学 女性研究者支援センター

ロビン・マーフィー 氏のご紹介

テキサス A&M 大学コンピューターサイエンス・エンジニアリング部のレイテオン社記念教授。IEEE 研究員であり、ロボット支援探索救助センター(CRASAR)の所長も務める。ジョージア工科大学で博士号を取得。NSF、DARPA、海軍研究局(ONR)などの機関から資金提供を受け、人工知能およびレスキューロボットに関する人間とロボットとの相互作用を研究している。11件の災害での都市の捜索および救助活動において、地上、航空、海洋ロボットを出動させた功績から、競基弘賞(日本)、アルオーブ貢献賞(AUVSI)、およびイーグル賞(NIUSR)を受賞した。現在、国防科学委員会(DSB)およびコンピューティング・コミュニティー・コンソーシアムの委員を務めている。

準備の都合上、ご出席を電子メールまたは添付のファックス用紙にてご連絡ください。
数名まとめてご連絡くださっても結構です。

<会場への地図>



- ・地下鉄御堂筋線
- ・南海高野線
なかもず駅（出口⑤）から
徒歩15分
- ・南海高野線
白鷺駅から徒歩10分

<<< 9月8日 ロビン・マーフィー氏 講演会 申し込み書 >>>

大阪府立大学 女性研究者支援センター

返信 FAX : 072 - 254 - 9856

Mail: w-support@ao.osakafu-u.ac.jp

お申込み締切 2015年9月1日(火) ※当日参加も可能です

| | | 日本語 | 英語 |
|------|-------------|-------------------------|----|
| ご氏名 | | | |
| ご所属 | 学校名/ 会社名 | | |
| | 学部/ 部署 | | |
| | 学年/ 役職 | | |
| | 連絡先 | 電子メール： ファックス： 電話： | |
| 特記事項 | | | |